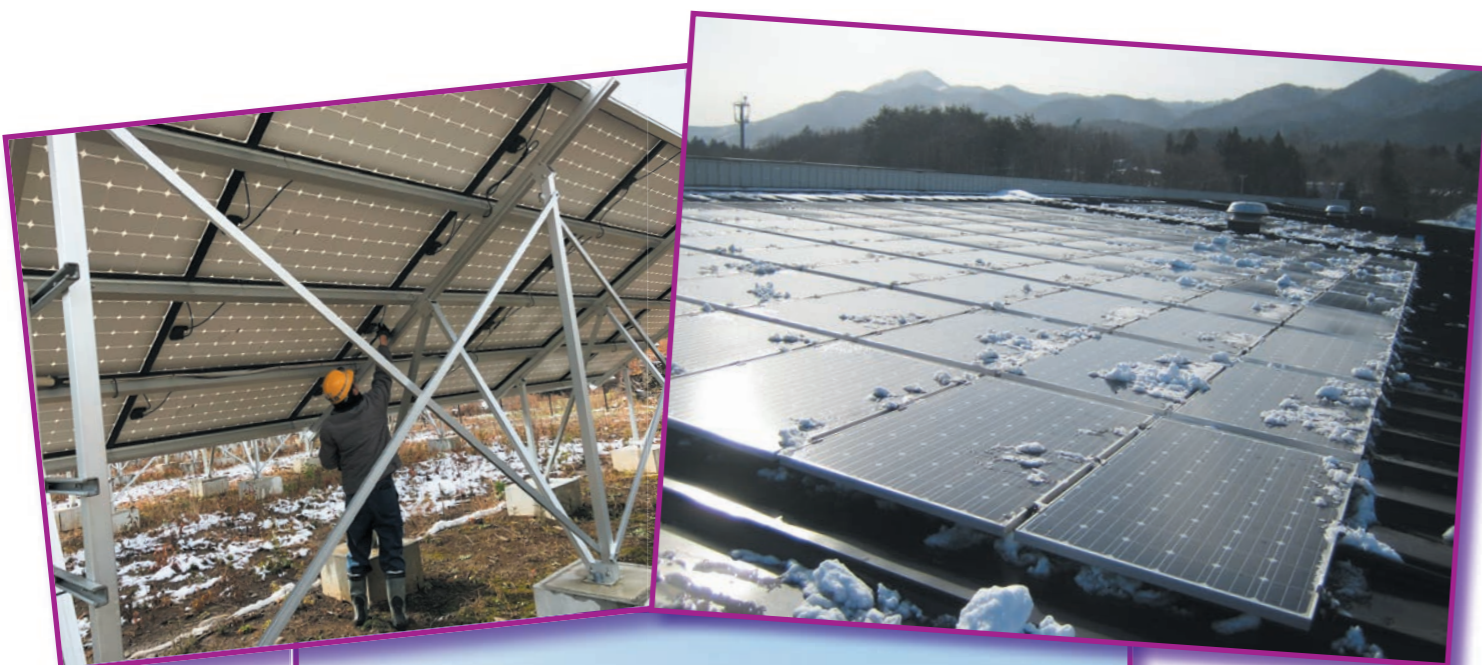


# REINMEI

黎明

～一般社団法人 日本PVプランナー協会会報誌～ Vol.17 新春号



表紙写真提供  
GC POWER(株)  
(株)光システム  
ミナト電気(株)

## Contents

### ・特集 / 第7回全国会員大会

- ・理事長挨拶・表彰式
- ・ご来賓挨拶・基調講演
- ・パネルディスカッション・情報交換会
- ・会員企業訪問 / 相和電気工業(株)  
ジャパシナジーシステム(株)  
(株)白崎コーポレーション / (株)エコラボ
- ・太陽光発電自家消費システム設計研修会
- ・「脱炭素経営・再エネ導入セミナー& 相談会」講師派遣報告

## 新年のご挨拶

一般社団法人日本PVプランナー協会 理事長 池田真樹



新年明けましておめでとうございます。平成から令和に変わって、子年の幕開けですね。子年は新しい局面に入るという意味があるそうです。

太陽光発電業界も今までさまざまな種子を蒔いて、大事に育ててきました。今年のはじめは、真の果実を刈り取り、「再エネの実力を示す年」にしましょう。

2019年は、いや2019年も災害の多い年となりました。一昨年の関西の台風、昨年の千葉をはじめとする立て続けの災害発生は記憶に新しいところです。これも地球温暖化の影響であることは疑う余地はなく、もはや気候変動ではなく、気候危機といわれています。私たちの太陽光発電業界は2012年以降、

FIT制度のもと急速に市場を拡大して参りました。一方でさまざまな問題も露呈して来ています。われわれは今一度、再生可能エネルギー普及の本来のミッションについてよく考え、取組んでいかなければなりません。新しい年が需給一体型モデルなどを含め、太陽光発電・再生可能エネルギーの真のスタートの年となるように、当協会でもさまざまな活動を行って参ります。自家消費市場に対する勉強会はもちろん、実際の設計や施工に関するセミナーなども開催して参ります。一方でまだまだ野立ての太陽光発電所は増えていきます。引き続き、地域との調和、長期信頼性の向上を目指し、本年も皆様と一緒に挑戦していきます。

今年も皆様のお力添えのほど、どうぞよろしくお願い致します。

## 一般社団法人 日本PVプランナー協会 理念

私たちは、PVプランナー・PVシステムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には

- 1、「販売」は、「地球環境問題」の解決に取り組みます。
- 1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
- 1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
- 1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
- 1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

## 2019年度 安全スローガン

『慣れた作業もまず確認、潜む危険を見逃すな、リスク管理でゼロ災職場!!』

相和電気工業(株) 片岡 久人 作 (近畿・北陸エリア会員)

昨年も会員企業の皆様に社内コンペとして安全スローガンの募集を行ったところ、106点の応募がありました。優秀作品10点を選出し、その中から1点を最優秀スローガンとし、2019年度の安全スローガンが決定しました。

会員企業の皆様には、今年度も変わらず、そしてこれまで以上に、施工作業の安全を意識してお仕事されることを願います。

※全応募作品は協会ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://pv-planner.jp/news/13122.html>

## 事務局だより

今から40年前に、電気業界に就職。当時の家庭の配電は糸ヒューズからブレーカーへと変わり、安全のために漏電ブレーカーが追加され家庭用分電盤として普及していきました。

ピンポンのチャイムから音声インターホンになり、画像付き持ち運びに代わり、電気業界は大きな変革の中で拡大し、繁栄したといえます。

太陽光発電普及拡大によるコストダウンを目的としたFITはその目的を果たし、新たな展開、すなわち脱FITの変革を迎えています。

われわれは一昨年11月の会員大会より、この変革を推し進めるべく活動をしてまいりましたが、今年はさらなる変革を示しつつ、大きな変革の中にこそ商機・勝機があるとお伝えしていく所存です。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。(大槻)



お問い合わせは…



## 一般社団法人 日本PVプランナー協会

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜3-7-18

日総第18ビル 715号室

TEL: 045-594-8015 / FAX: 045-594-8016

Web <http://pv-planner.jp>

Mail [otoiawase@pv-planner.jp](mailto:otoiawase@pv-planner.jp)

制作・編集: (株)電設出版

# SHIN EI

## 太陽光発電メンテナンス測定器

### ストリングの不良診断



新製品

PVレジスタンスチェッカ  
**PVR-1000**

測定 1秒! 定価 ¥138,000 (税別)



内部抵抗値でストリング診断

正常		不良初期		発電異常	
No	[Ω]	No	[Ω]	No	[Ω]
A002	57 266.7	A003	18 266.4	A004	18 266.5
A003	18 266.4	A004	18 266.5	B001	567 265.4V
A004	18 266.4	B001	567 265.4V	B002	>1000Ω 265.6V
	3/2000		4/2000		5/2000

※判定値は変更できます。開放電圧は、カラー判定しません。

NO-GO 判定 2000件 保存 USB 管理 650g

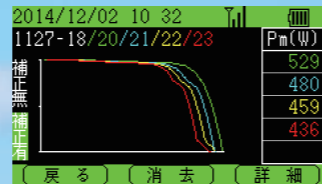
### モジュールの性能診断



I-Vカーブトレサ  
**IVH-2000Z**

測定 1秒! 定価 ¥450,000 (税別)

I-V比較測定



SDM-3600 管理ソフト(付属)



I-V カーブ 解析 ソフト 日射計 付属品 1.4kg

日射・温度計(付属)

### 新栄電子計測器株式会社

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2636  
TEL 0466-88-3030 FAX 0466-87-0627

# SHIN EI

<http://www.shin-ei.ne.jp>

# 第7回全国会員大会

2019年11月15日、「第7回全国会員大会」が東京・渋谷シダックスカルチャーホールで開催されました。120名を超える来場者となり、基調講演も大変好評で大盛況となりました。大会後の「情報交換会」も、協会員様同士の交流のよい場となりました。

## 理事長挨拶

### 太陽光発電のプロフェッショナルとしてできること

一般社団法人日本 PV プランナー協会

理事長 池田真樹



解をしています。今回のFIPに関しては競争電源側の意向であり、全期間固定型プレミアムFIPと完全変動型プレミアムFIPの間になると予想されています。今後の発表に注目したいと思います。

当協会では、自家消費型についてのセミナーや勉強会を行ってまいりました。われわれが太陽光発電のプロフェッショナルとして、先頭に立ってこの分野を切り開いていきましょう。そうすれば、おのずと自家消費型太陽光発電は成長していくのではないのでしょうか。

ところで、FITと自家消費の決定的な違いは何でしょうか。われわれ発電事業者側から見た時に、それは自家消費には付加価値があり、その視点から見るのが欠かせません。つまり、お客様への提案はいわゆる創エネばかりではなく、省エネの視点、提案が重要になってくる、と考えています。

今、太陽光発電が適正に設置できる土地は減少してきています。これからの太陽光発電は住宅や学校の屋根、そして農地へと進んでいくと思われます。

世界は太陽光発電・再エネに注目しています。明るい地球の未来のために太陽光発電と一緒に勉強していきましょう。

現在の異常気象は、気候危機とまでいわれ始めています。この原因とされる化石燃料の時代は終わらせなければなりません。

われわれはFIP（フィードインプレミアム）などの新しい仕組みにも対応していく必要があります。現在、FITからFIPへの議論がさまざまな場所でなされていますが、太陽光発電の視点で簡略化してお話をしますと、競争電源は電力販売を前提としたもの、つまり大規模太陽光発電であり、一方、地域活用電源は住宅用など自家消費を前提としたもの、となると理

## 表彰式



最優秀会員賞

(株)ヨネカワ  
(近畿・北陸エリア会員)  
米川昇氏



安全スローガン賞

相和電気工業(株)  
(近畿・北陸エリア会員)  
片岡久人氏 (代理：佐茂氏)

2019年度 安全スローガン  
「慣れた作業もまず確認、  
潜む危険を見逃すな、  
リスク管理でゼロ災職場!!」



安全スローガン 特別賞

(株)パートナーズ  
(東北エリア会員)  
斎藤正太郎氏 (代理：澤井氏)

最優秀会員賞は各地区会表彰者の中から特に地区会活動への貢献が著しかった協会員を表彰

## ご来賓挨拶

### 脱炭素社会の実現に向けて

環境省 地球環境局  
地球温暖化対策課 課長  
奥山祐矢氏

地域を持続的に活性化させていくキーワードとなるのが、地域資源である再生可能エネルギーです。先日、分散型エネルギーシステム構築に関し、多様な主体が垣根を越えて連携し合う場＝プラットフォームを立ち上げました。今、脱炭素社会の実現に向けて、地域循環共生圏を構築していくことが重要と考えています。

太陽光発電システムを活用した地域と共生する分



分散型エネルギーシステムは、脱炭素化と地域の活性化を同時に達成させる中心的な役割を担っています。

### 注目される営農型太陽光発電

農林水産省 食料産業局  
バイオマス循環資源課  
再生可能エネルギー室 室長  
川中正光氏

再生可能エネルギーから得られる利益は地域に還元しつつ地域の活性化に活かされるべきと考えます。

再生可能エネルギーの導入に際して、「地域と連携する」「食料や国土保全に支障をきたさない」「農林地の利用調整を適切に行いつつ促進していく」の三つが大切であると考えます。また、営農型太陽光発電も注目されています。ポイントは「構造等が農作物の生育に適しているか」「支柱の高さや間隔が



農作業を行う上で適切か」「農地法に一次転用許可なので構造物が撤去できる状態か」です。

## 基調講演①

### 「再生可能エネルギーの主力電源化に向けた課題と展望」

経済産業省 資源エネルギー庁  
新エネルギー課 再生可能エネルギー室 室長  
杉浦孝志氏

まず、再生可能エネルギーの最近の動向を三つ挙げます。一つは「卒FIT太陽光の出現」です。FIT買取期間が終了した案件は、自家消費型のライフスタイルへの変換への契機となるとともに、余剰電力を活用したビジネスチャンスでもあります。二つ目は「自立運転機能の活用」です。災害時や停電時に電気を供給する再生可能エネルギーの機能が注目されています。三つ目は「自家消費や地域内システムを活用した需給一体型のモデルが多様な形で始まっている」ということです。



FIT制度は、再生可能エネルギー導入初期における普及拡大と、それを通じたコストダウンを実現することを目的とした時限的な特別措置です。FIT法

は2020年度末までに抜本的な見直しをして、再生可能エネルギー政策の再構築が行われます。再構築において「競争電源」と「地域活用電源」の二つの視点が考えられます。再生可能エネルギーが主力電源になるためには、電力市場でコスト競争に打ち勝って自立的に導入が進まなければなりません。また、再生可能エネルギーには、地域の活性化や危機管理に活用される側面があることから、地域で活用される電源としての事業環境整備も必要です。

主力電源として再生可能エネルギーを責任ある長期安定電源とするため「安全の確保」「地域との共生」

「太陽光発電設備の適切な廃棄対策」の三つが重要です。」

「安全の確保」とは、技術基準の適合性に疑義ある案件の取締り、技術基準が定めた性能を満たす仕様の設定と原則化、斜面設置の技術基準の見直しなどです。

「地域との共生」とは、標識・柵の設置義務違反の取締りなどです。

「太陽光発電設備の適切な廃棄対策」とは、廃棄費用の積立や報告の義務化などで、現在、実施あるいは検討しています。

## 基調講演②

### 「PV Outlook 2050

### これからの日本のエネルギーを支える太陽光発電」

一般社団法人 太陽光発電協会 (JPEA)  
ビジョン部会 部会長  
杉本完蔵氏



世界の大きな潮流は間違いなく脱炭素です。この流れには5つのポイントがあります。SDGsとRE100（持続可能社会に向かう目標と環境先進企業）、ESG投資（環境に配慮している企業を選別して投資する考え方）、Society5.0（第5次産業革命、ITを使った社会システムの構築）、Utility3.0（電力システムの構造改革）、EV Shift（電気自動車への移行、蓄電池としての電気自動車）です。

2050年までにCO<sub>2</sub>排出量を80%削減するという政府目標に対して、必要な社会変革の第一は「省エネ」です。太陽光ビジネスにおいても、お客様に省エネの提案をすることが新しい流れです。熱は電気に変え脱炭素化を図ります。

前回のビジョンでは、2050年太陽光発電200GWの導入を想定しましたが、80%削減には不足でした。今回のビジョンでは300GWとし、80%削減の実現に近づけることを想定しています。

気候変動をリスクととらえている企業が増えています。今、投資の判断基準は化石燃料に依存しない事業活動です。では、中小企業にとっての脱炭素化のメリットは何でしょう。一つは、顧客に対して環境対策をアピールできること。二つ目は、製品製造等にかかった排出量情報を提供すれば、取引先のサプライチェーン上の排出量算定に貢献できること、三つ目は、RE100に参加する大企業にアピールが可能である、ということです。

企業の再生可能エネルギーの調達方法で一番簡単なのは、証書を買ってくることです。しかし、一番効率がよいのは太陽光発電自家消費です。われわれは、ここをいかに提案できるかが重要となります。

FITが終了した後、太陽光発電のコスト競争力の向上や価値創出によって新たなビジネスモデルが生まれてきます。制度設計はまだできていませんが、ZEHや太陽光発電自家消費などをお客様に提案できます。ビジネスモデルのポイントはアグリゲーターの育成にあると思います。

太陽光発電業界は、あらゆる生活インフラとつながり、サービスを提供するインフラサービス支援の中核として発展していくと思います。



## パネルディスカッション

### 「RE100から始まった自家消費太陽光発電の進め方」



〔モデレーター〕  
 馬上丈司氏（当協会顧問）  
 〔パネラー〕  
 池田真樹氏（㈱横浜環境デザイン）  
 澤井仁氏（㈱パートナーズ）  
 佐々木俊輔氏（ミナト電気㈱）  
 鈴木健太氏（鈴木電設㈱）

**馬上氏**「災害時には太陽光発電自家発電設備は大変注目されました。本日は自家発電設備としての太陽光発電の進め方について考えていきたいと思っています」

**池田氏**「BCP対策、RE100対策、コスト削減などさまざまなニーズから太陽光発電は注目されています。弊社の施工例をご紹介します。家具のイケアさんの店舗に太陽光発電を付けさせていただきました。コスト削減の目的ではなくRE100の達成のためであり、売電はなく、すべて自家消費にまわっています。次の施工例は地元のコーヒーメーカーで、こちらはコスト削減が目的でした。三例目は物流倉庫で、こちらは第三者保有モデルです。テナントさんがRE100企業と取引する場合に有利になるように取付けました。このように太陽光発電設置にはいろいろな目的があることがわかりいただけると思います」

**澤井氏**「老人ホーム様に太陽光と蓄電池をあわせて導入しました。入居者さんは高齢の方が多く、昼夜問わず電気が必要とのことでしたので蓄電池を導入しました。こちらは補助金を活用しています」

**佐々木氏**「倉庫会社様に太陽光発電システムを導入しました。その際、補助金を使いました。地元の金融機関に情報を提供していると、お客さんを紹介していただけることが増えてきています」

**鈴木氏**「牛舎に太陽光発電システムを設置した例ですが、屋根にパネルを乗せると畜舎内が涼しくなり遮熱の効果もあることに気づきました」

**馬上氏**「お客様の太陽光発電の導入のきっかけは多いのですか？」

**池田氏**「環境価値に重きを置いています。やはりコストとの兼ね合いでご納得していただかないと導入は難しいですね」

**馬上氏**「慣れないと手続きが大変だったようですが…」

**佐々木氏**「高圧の手続きだったのですが、電力会社

さんに書類を送ってもらい、その都度記入の仕方を教えていただきながら手続きしました。時間がかかりましたが勉強になりました」

**馬上氏**「お客様がお客様を紹介していただけることはありますか？」

**鈴木氏**「あります。やはり削減した費用を何に使うか、というところまで相談に乗ることが重要ですね」

**馬上氏**「牛舎の場合JAさんから紹介があると聞きしました。きっかけは？」

**鈴木氏**「JAさんの支店を借りて太陽光発電のセミナーをやらせていただきました」

**佐々木氏**「牛舎の太陽光発電設備は汚れそうですが」

**鈴木氏**「失敗した事例なのですが、メンテナンスの契約をしていなかったため、無限につきあわせそうです」

**馬上氏**「自家消費型太陽光発電のメンテナンスでの注意事項はありますか？」

**池田氏**「当たり前のことなのですが、屋根いっばいにパネルを敷くとメンテナンスが難しくなります。たくさん売りたいのでついやってしまうのですが…」

**馬上氏**「補助金を受ける際、書類を揃えるだけです。それとも審査に立ち会ったりするのですか？」

**佐々木氏**「技術的な質問がある場合がありますので審査に立ち会います。案の定、施主様には答えられないであろう電気に関する質問が出て、ついて行ってよかったと思いました」

その後、来場者からの質問が出て、活発な議論が続きました。



## 情報交換会

全国会員大会終了後は、渋谷東武ホテルに場所を移し、恒例の情報交換会を開催いたしました。参加者123名のうち、94名の方にご出席いた

きました。登壇者様やご来賓にもご参加いただいたことで、懇親だけではなくしっかりと情報交換ができたかと思えます。



## 2020年 地区会セミナー開催方針

エネルギー革命が地球規模で始まり脱炭素化に向かっています。日本も例外ではなくむしろ遅れをとっている中でわれわれは脱炭素化を推し進めるべく、昨年11月の第7回全国会員大会では脱炭素化に向けたテーマにそって基調講演を行いました。今年の地区会でのセミナーも基調講演をもとに脱炭素化に向けた内容で展開してまいります。

- (1) 事業用自家消費の設計・技術・設置事例・販売方法
- (2) 住宅用・事業用蓄電池の推進
- (3) EVを使ったV2HやV2Xの推進
- (4) 電力市場の理解～FIPへの対応
- (5) 自治体と企業の連携推進

## 地球環境問題に全力で 取り組みます

### 相和電気工業(株) (近畿・北陸エリア会員)

当社は創業57年を迎える電気工事会社です。大阪府・大阪市・箕面市を中心とした各種官公庁工事から、タワーマンション・病院・ビル・競馬場・モノレールなどさまざまな民間工事を行ってまいりました。

官公庁やゼネコンの厳しい品質要求の下で培ってきた設計力・技術力、安全管理、工程管理など、蓄積された弊社のオンリーワン技術を基に、クリーンなエネルギーを利用した太陽光発電システム工事にいち早く取り組み、約18年間で多くの施工実績を積み上げてまいりました。その結果、数々の無災害・施工技術賞を受賞し、安全衛生優良事業場の認定を受けております。

低圧から高圧まで、電気を知り尽くしたプロの技術集団であり、工事着工前から工事完工後まで、最



高品質の設計・施工・アフターフォローを提供することができます。

近年、変動が著しい太陽光業界ですが、本協会でご得られる情報やノウハウを活かし、今後は、

- ①蓄電池、新電力を組合せた「自家消費型太陽光発電事業」
  - ②FITを利用した「分譲型太陽光発電事業」および販売
  - ③強い街を作るための「電線地中化事業」
- の3つを軸にして地球環境問題に全力で取り組んでまいります。

・会社概要・  
社名：相和電気工業(株)  
住所：大阪府大阪市北区東天満1-5-17  
代表者：佐茂英昭  
創業：1963年  
主な事業：総合電気工事（設計・施工・管理）・通信工事  
業・太陽光発電事業（設計・施工・管理）・太陽光発電（メン  
テナンス・改修・リパワリング・コンサルティング）・太  
陽光発電セカンダリー仲介事業・電線地中化事業・自社太  
陽光発電所売電事業

## 4つの事業が機能しあい、 社会貢献へとつなげていく

### ジャパンシナジーシステム(株) (九州エリア会員)

当社は「共同作用」「相乗作用」を意味する想いから名付けられました。二つ以上のもの「人」「事柄」などが、相互に作用し合い、一つの効果や機能を高めま



合もあます。当社のロゴマークは4つの事業「+」が機能しあい、相乗的に新たな付加価値・効果を生み出すことのできるようという意味をシンボライズしました。

4つのカラーは、環境への貢献を掲げる私たちの理念に基づき、「太陽」「水」「緑」「大地」を表しています。

私たちは、これまで培ってきた知識と経験を活かし、その成果を社会貢献へとつなげていくお手伝いをさせていただくことで、私たち自身の使命を果たしていきたいと考えています。

・会社概要・  
社名：ジャパンシナジーシステム(株)  
住所：福岡県福岡市博多区東光2-5-14 第五野野ビル2F  
代表者：上木由佳  
創業：2013年  
主な事業：太陽光発電事業・住環境提案事業・不動産事業・  
コンサルティング事業

## 自然と人間（みんな）が 一緒に幸せになる仕事

### 株白崎コーポレーション (関東エリア会員)

当社の創業は1949年。畳の縁に使用されている細巾織物を作る織物メーカーとして創業しました。その後、ドットプリンターの普及によりインクリボンの需要が急速に高まったのを機にインクリボンの製造を始めました。

世の中の意識が環境への負荷を低減する方向に高まったことを受け、再生トナーを製造するリユーストナー事業を、次いで防草、緑化を主とした新たな事業としてグリーンナップ事業を展開しました。緑化ビジネスの先駆けとして防草シート業界をリード



して参りました。現在では太陽光専用特化した専門の部署を作り、太陽光に特化した製品のご提案をさせていただきます。

## 太陽光発電を普及させ、 地域に貢献する

### 株エコラボ (中部エリア会員)

当社は、2014年に広島県で設立した太陽光発電のEPC事業を中心にした企業です。FIT制度に基づいた太陽光発電事業、自家消費型太陽光発電を主軸とし、省エネ提案コンサルティングやBCP策定提案も行っております。

太陽光発電事業、省エネ事業のスペシャリストとしてお客様ファーストを掲げ、キャッシュを守っていくとともに、二酸化炭素の排出削減等の環境に配慮した事業モデルを構築していきます。

微力ながら太陽光発電EPC業者として、太陽光という無尽蔵で環境負荷を与えない自然エネルギー源を活用した太陽光発電を普及させることは、私たちの使命であると考えております。



太陽光発電を取り巻く環境は、年々ソフト面、ハード面において変化をともなっており、スピーディー



インターネットで検索すればさまざまな防草シートが出てくる中で、当社が選ばれ続けている要因は、「よりよいものを、よりよい施工方法を、より現場に適したシートを」とお客さまに寄り添ったご提案させていただいていることです。

シートが適合しない現場に敷設してもシートの効果は発揮しません。素材の違いや構造の違いを分かりやすくご説明させていただき、さらにご要望があれば現場にも駆け付ける姿勢こそが当社の誇りであります。

・会社概要・  
社名：株白崎コーポレーション  
住所：福井県鯖江市石生谷町11-23  
代表者：白崎弘隆  
創業：1949年  
主な事業：リサイクルトナーの製造・販売、緑化資材の製造・販売



かつ正確に情報をキャッチし、実行していくことで再生可能エネルギーの未来を創出する一旦を担っていきます。

また、広島県では一昨年「西日本豪雨」がありました。自然災害の現実を目の当たりにして、いづくで起こるかかわからない災害に対する備え、BCP策定に注力していく必要があると感じ、さまざまな場面において社会、地域に貢献できる企業を目指してまいります。

・会社概要・  
社名：株エコラボ  
住所：広島県福山市奈良津町3-9-29  
代表者：加茂有紀  
創業：2014年  
太陽光発電システム事業【設計・販売・施工・管理】EPC  
太陽光発電メンテナンス事業、太陽光発電設備関連商品の販売、  
自家消費型太陽光発電を用いた省エネ提案事業、BCP対策事業

## 2019年12月10日 「太陽光発電自家消費システム設計研修会 in 東京会場」を開催しました

当協会では昨年の1月より太陽光発電自家消費（需給一体型）を一貫して進めてまいりました。

年間20回に及ぶ全国の地区会では「RE100・SDGSから始まる自家消費」や「自家消費提案シミュレーション作成」や「自家消費販売・施工事例」などを繰り返し行ってきましたが、協会員から実際にどのように設計するのかという要望が多くなり、事務局で検討の結果、今回の開催となりました。

これから太陽光自家消費に取り組む会員向けにシステム設計の考え方や容易に扱える設計シミュレーション・提案シミュレーション、すでに販売・施工を行っている会員の事例紹介や販売手法などもあわせて講義させていただきました。

設計担当者・電気資格者を参加資格としたため20名程度の参加と想定しましたが、実際は38名もの参加があり、さらに1月に大阪開催があるにも関わらず西日本エリアからの参加も多く、大阪開催は別人が参加するという回



答があり、今回の研修会に対する期待が感じられました。事後のアンケートによるとこれから参入する方には非常に満足していただけたようです。

4月以降も太陽光自家消費に関する地区会セミナーを継続的に行いたいと考えます。

### 【講義内容】

- ◆需要電力データから最適なパネル容量の設計と最適化シミュレーション作成
- ◆需要電力を計測し、抑制パワコンにより逆潮流を制御する電気システム
- ◆自家消費施工販売事例と販売手法事例
- ◆経費削減（電気代削減）を需要家に示す提案書の作成

## 2019年12月11日 環境省・三重県主催 「脱炭素経営・再エネ導入セミナー&相談会」講師派遣報告

当協会主催にて、昨年7月に岩手県需要家向けセミナー（環境省・岩手県後援）を開催しましたが、同様の企画を環境省と自治体でも開催検討中と聞いておりました。今回の環境省・三重県主催「脱炭素経営・再エネ導入セミナー&相談会」はその第1弾であり、開催にあたり百五銀行が後援され集客も行い、実に120社を超える地場企業（需要家）が参加しました。

運営会社から当協会に相談会の依頼があり、事前登録による自家消費案件シミュレーションを作成し、当日は9社11案件のご相談に対し、ミニセミナー&自家消費シミュレーションの説明と相談対応を行いました。そのうち5件ほどが太陽光発電自家消費設置に向く案件であり、今後も継続して当協会でも対応していく予定です。



このように、環境省・自治体・銀行が地域需要活性化のためのセミナーを開催することはとても大きなインパクトがあり、他の自治体においても伝播していくものと考えられます。当協会も地域の協会員とともに自家消費の潮流をつくるよう活動してまいります。

次回は2月に愛媛県松山市にて開催予定ですが、来年度も引き続き数か所で開催検討とお聞きしており、全国の自治体に広まることを期待しております。

※これらの映像+資料は協会HPより視聴+ダウンロードが可能となっています（ご覧いただくにはパスワードが必要です）。



もっと点検してほしいから

イーソラメンテ

**eSolamente**

テスター感覚のかんたん操作    ポケットサイズに小型化    故障パネルの位置も特定可能



e ソラメンテ-Z eZ-10  
¥160,000- (税抜)  
2019年8月5日 発売



電流センサー eA-10  
¥67,000- (税抜)  
2019年10月 発売  
※開発中のため、  
外観等は変更になる場合がございます。

## 太陽光パネルの点検はソラメンテシリーズで



ストリング  
チェッカー SZ-200

天候の影響をほとんど受けないインピーダンス測定で、パネル故障をストリング単位で特定します。



パネル  
チェッカー SI-200

高感度センサーで、パネル表面から発電電流を感知。すばやく正確に故障パネルを特定できます。



オプション SR-200

送電前・送電停止時にパネル点検ができます。SZ-200、SI-200と連携させて使います。



オプション SC-200

CIS 薄膜パネル点検で、PVケーブルを取り外さずに点検できます。SI-200に装着して使います。

## 太陽光パネル メンテナンスブック



アイテスが全国の太陽光発電所で遭遇した、トラブル事例を現場編として本にまとめました。太陽光パネルの疑問を解決する技術編、太陽光発電所の売電損失についてまとめたオーナーブック、まとめて3冊を無料で進呈いたします。お申込みは、下記HPから！

[www.solamente.biz](http://www.solamente.biz)

太陽光 ソラメンテ 検索



販売代理店  
**東洋計測器株式会社**  
〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-3-12 計測器ランドビル  
TEL.03-3255-8035 FAX.03-3255-8076  
URL:<http://www.keisokuki-land.co.jp/>

株式会社**アイテス**  
〒520-3031 滋賀県栗東市穂 1 丁目 17-8-501 栗東事業所  
製品開発 TEL.077-599-5040 FAX.077-554-6173  
URL: [www.ites.co.jp](http://www.ites.co.jp) e-mail: [sales02@ites.co.jp](mailto:sales02@ites.co.jp)